

e ラーニング院内研修会予定表

《土曜日》

| 開催日 | コース | タイトル | 研修目的 |
|-----|-----|---|--|
| 4月 | 8 | 呼吸器系のフィジカルアセスメント | 聴き分けるべき音のカタログを再確認するとともに、それらの音が現していることを理解することで、呼吸音聴取をものにする。 |
| | 22 | | |
| 5月 | 6 | 認知症発症のメカニズムと病態・治療 〈医学編1〉 | 認知症の症状や臨床像、原因疾患や発症のメカニズム、さらには危険因子や治療など、疾患の基礎知識について学ぶ。 |
| | 13 | | |
| 6月 | 27 | 認知症症状の予防と対応 ～BPSD（心理症状）とせん妄～ 〈医学編2〉 | BPSDに含まれる、意欲減退・うつ、不穏、焦燥、幻覚、妄想、徘徊などの基本的な症状や治療、影響を与える要因などの基礎知識を学ぶ。 |
| | 3 | | |
| 6月 | 10 | 早期離床のための合併症予防 ～血栓、せん妄、代謝障害～ | 重症疾患患者のQOLに影響を与える諸問題やリスク因子を知り、早期離床の効果、重要性を学ぶ。 |
| | 24 | | |
| 7月 | 1 | 排尿ケアの質を高め患者のQOLを高める 適切な排尿ケア実践を学ぶ | 包括的排尿ケアに必要な下部尿路機能評価を学ぶ。 エビデンスをふまえた最近の排尿ケアを知る。 |
| | 8 | | |
| | 22 | 褥瘡を予防する ～発生要因の理解とアセスメント～ | 褥瘡の発生要因や後発部位を知る。 体位変換・環境調整の意義を理解する。 アセスメントが行え、褥瘡に対応できる。 |
| 8月 | 29 | 全診療科必見！糖尿病をもつ患者さんの “療養行動の実施に向けた理論” を活用したアプローチ | 理論を活用した患者の心理的アセスメントを理解する。患者教育の方法、効果的な面接スキルを学ぶ。 |
| | 5 | | |
| 9月 | 12 | 取り違えてはいけない薬剤を知る ～安全確保のための基礎知識～ | 薬剤の基礎知識と使い方、投与方法、管理法及び、新しいジェネリック医薬品について学び、薬に対する苦手意識を解消する。 |
| | 26 | | |
| 9月 | 2 | カテーテル関連 尿路感染管理を身につけよう | カテーテルと採尿バッグを安全・衛生的に固定して微生物の侵入や増殖を防止するため、カテーテル関連尿路感染防止のポイントを身につける。 |
| | 9 | | |
| 10月 | 30 | 看護が見える！看護記録の書き方 | 看護記録の書き方の基本原則を理解し、記録の正しい書き方を知る。 |
| | 7 | | |
| 11月 | 14 | 認知症患者に対するアセスメントとケア 〈看護編1〉 | 認知症患者の中核症状、日常生活のアセスメントとケアのポイントを学ぶ。 |
| | 28 | | |
| 11月 | 4 | 質の高い看護実践のためのがん化学療法の 基本的理解とアセスメント | がん化学療法看護の理論と実践を理解し、化学療法を受ける患者のアセスメントの基本を学ぶ。 |
| | 11 | | |
| 12月 | 25 | 認知症患者に対するコミュニケーション 〈看護編2〉 | 認知症患者はストレスや不安を感じやすくBPSDを引き起こすこともある。それらを軽減する為、大切な手段であるコミュニケーションを学ぶ。 |
| | 2 | | |
| 1月 | 9 | 嚥下障害のある患者のための食事介助 | 嚥下のメカニズムを学ぶ。 経口摂取を実現するための取り組みを学ぶ。 |
| | 13 | | |
| 2月 | 27 | 根拠に基づく口腔ケアの実践 ～口腔ケアを医療として実践するために～ | 口腔ケアの効果を理解し、感染対策として口腔ケアの実践方法を学ぶ。 挿管患者に対する口腔ケアの手順を知る。 |
| | 3 | | |
| 3月 | 10 | 急変時対応の実際 ～患者の意識把握から応援要請まで～ | 急変させない看護及び、救急蘇生についてAHAガイドライン2015に基づいたポイントを学ぶ。 |
| | 24 | | |
| 3月 | 3 | 認知症の倫理的課題と意思決定支援 〈倫理編〉 | 認知症に内在する倫理的課題を明らかにし、相手の思いを感じ取り、推察し、確認しながら丁寧に医療を行うために必要な知識を学ぶ。 |
| | 10 | | |
| 3月 | 24 | 認知症の倫理的課題と意思決定支援 〈倫理編〉 | 認知症に内在する倫理的課題を明らかにし、相手の思いを感じ取り、推察し、確認しながら丁寧に医療を行うために必要な知識を学ぶ。 |
| | 3 | | |

